

第3回第3次稲美町男女共同参画プラン策定委員会の報告について

1 日 時：令和4年2月7日(月)18:00～19:10

2 場 所：いきがい創造センター ワーキングスペース

3 出席委員：田端和彦・高田智寿子・水田克美・安福 均・大村有里・赤松恭子
前田朋子・沼田 弘・山本勝也

4 事務局：丸山一也・岩崎大蔵

(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 中山重寿・小山亜美

5 審議概要

(1) パブリックコメント(意見募集)について

- ・募集期間 令和3年12月27日(月)～令和4年1月25日(火)
- ・募集方法 町のホームページ、人権教育課窓口、情報公開コーナー
- ・意見提出状況 0件

(2) 第2回策定委員会以降の変更点について

- ・表紙のタイトル「ともに輝く未来のいなみ」に変更。
- ・表紙に用いたイラストは多様な性の視点を十分考慮したものではなかったため、リボン調のシンプルな表紙に変更。
- ・全体を通して担当課の記載順を見直し、組織順に倣って記載。
- ・標準文字を変更。(半角マス分の空白ができてしまう現象の解決のため)
- ・用語集に「アンコンシャスバイアス」「LGBTQ」を追加。

(3) 第3次プランの記載内容について

- ① 現状と課題の中で、「5. 農業分野における女性の参画状況」とあるが、様々な職業のうち、農業のみ記載されているのは違和感を感じる。
→農業は本町における主な産業であることを踏まえ、町独自の兼業農家等の指針として記載を考えている。(第2次プランからの継続)
- ② 基本目標1の(3)に「家庭生活における固定的役割分担意識の解消」が新規追加されたため、(1)の「家庭教育の支援推進」は不要ではないか？
→第2次プランから継続の「家庭教育の支援推進」をベースとし、「家庭生活における固定的役割分担意識の解消」を追加するという位置づけになっている。

(4) 第3次プラン(概要版)について

- ・第3次プラン(冊子)の中から、「男女共同参画の定義」や「稲美町の現状」、「施策体系」等をカラー8ページにまとめる。
- ・表紙のイラストに工夫を凝らすことで、課題意識をもって興味深く読み進めることのできる構成とする。

<各委員から>

- ジェンダーギャップ指数等、「国際的な日本の現状」が、何ヵ国中の順位かわかるとよい。
- イラストによりイメージが左右されることがあるので、慎重に選定すること。
- 現状と課題の「5. 農業分野における女性の参画状況」を記載することで、女性が地域を支えていることのアピールに繋がる。
- 第3次プラン(冊子)と概要版の表紙をリンクさせることについて検討願いたい。
- 町ホームページや広報等を活用し、多くの住民に第3次プランの周知に努めること。